

又御子ども中關白殿○道隆あはた殿○道兼法成寺入道殿○道長これふたゝびなり、ちかくは法性寺殿の御子ども、六條殿○道隆松殿○道兼月輪殿○道實是ぞやがていまの峯殿○道家の御おほぢよ、かやうの事いとたまくゝあれど、あはた殿もせんじかうぶり給へりしばかりにて、七日にてうせ給ひにしかば、天下執行し給ふにおよばず、松殿の御子もろいへのおとゞ夢のやうにて、まかも一代にてやみたまひにき、いづれも御すゑまではおはせざりしに、この三所の御後のみいまにたえず、御ながれ久しきふぢなみにて、たちさかえたまへることたゞひなきやんどなさなめれ、すゑのよにもありがたくや侍らん、今の攝政殿をば、のちには圓明寺殿○道實とぞきこゆめりし、一條殿の御家のはじめなり、攝政にて二とせばかりおはしき、女院○道實后○嵯峨嬪○嵯峨の御父○藤原實○藤原も太政大臣になりたまひて、手車ゆり給ふ、さるべき事といひながらいとめでたし、